

科目分類	スキル科目群-情報解析科目			対象学年	1
授業科目	社会統計学 I			学期	春学期
代表教員	張 忠任			選択/必修	選択
科目コード	H901201	授業形態	講義	単位数	1.0
授業の概要	<p>現代の社会科学および社会工学には、統計学的手法および数学的手法は不可欠な要素となっている。従って、社会科学(社会工学)を学ぶ、あるいは研究するに際し、統計学や数学を使うことを避けることはできない。本講義では、特に博士前期課程(修士課程)1年次で、学部在籍時に基礎的な数理統計学や数学の知識を習得していない学生の、社会科学(社会工学)分野における学習・研究に最低限必要な統計学的手法の習得を目指し、それらを速習する。</p>				
授業の内容	<p>第1回 1最低限度必要な微分積分学  第2回 2最低限度必要な線形代数学  第3回 3重回帰分析の理論と方法  第4回 4ログリニア分析  第5回 5ロジット分析  第6回 6パス解析入門  第7回 7分散分析  第8回 8共分散分析  第9回 9行列の固有値、固有ベクトルおよびスペクトル分解  第10回 10主成分分析  第11回 11因子分析  第12回 12多次元尺度法  第13回 13共分散構造分析  第14回 14マルコフ解析基礎  第15回 15総括</p>				
テキスト	特定の教科書は用いない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考文献	必要に応じて指示するが、最初の講義にて参考文献を解説する。				
評価方法	中間テスト40%、期末テスト50%、出席10%の評点配分で成績が決定されます。				
参考URL					
その他	受講にはパソコンの持参が必要である。				

科目分類	スキル科目群-情報解析科目			対象学年	1
授業科目	社会統計学Ⅱ			学期	秋学期
代表教員	張 忠任			選択/必修	選択
科目コード	H901202	授業形態	講義	単位数	1.0
授業の概要	社会統計学Ⅰにおいて学んだ多変量解析などの知識を、R言語を用いてコンピュータによる演習と応用を通じて理解を深める。				
授業の内容	第1回 1 微積分の応用 第2回 2 線形代数学の応用 1 第3回 3 R言語入門 第4回 4 R言語演習 第5回 5 回帰分析の応用 1 第6回 6 回帰分析の応用 2 第7回 7 ログリニア分析とロジット分析の応用 第8回 8 分散分析と共分散分析の応用 第9回 9 パス解析の応用 第10回 10 主成分分析の応用 第11回 11 因子分析の応用 第12回 12 多次元尺度法の応用 第13回 13 共分散構造分析の応用 第14回 14 マルコフ解析の応用 第15回 15 総括				
テキスト	特定の教科書は用いない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考文献	必要に応じて指示するが、最初の講義にて参考文献を解説する。				
評価方法	レポート2回とするが、レポートに出席を加味して評価する。出席状況の悪いもの（70%以下）は不可になることを覚悟すること。				
参考URL					
その他	受講にはパソコンの持参が必要である。				

科目分類	スキル科目群-情報解析科目			対象学年	1
授業科目	社会調査手法演習			学期	春学期
代表教員	寺田 哲志			選択/必修	選択
科目コード	H901203	授業形態	講義	単位数	1.0
授業の概要	<p>社会科学の実証研究において用いられることが多いアンケート調査の手法を学ぶ。最終的に、受講学生の研究テーマに応じたアンケートを実際に作成する。回答の回収、集計も実際に行い、データ整理をしたものを演習用データとする。</p> <p>【到達目標】 データを集計・整理し、解析を行って論文作成のなかで使える形にしていくスキルを身に着ける。</p>				
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の概要説明</li> <li>2. アンケート調査の基本</li> <li>3. データの種類と距離</li> <li>4. 調査票の作成</li> <li>5. データの入力、クリーニング</li> <li>6. 単純集計とグラフ化</li> <li>7. データの要約 まとまりとばらつき</li> <li>8. 相関係数と散布図</li> <li>9. 順位相関係数</li> <li>10. 回帰分析</li> <li>11. 重回帰分析</li> <li>12. クロス集計 連関係数・</li> <li>13. クロス集計 <math>\chi^2</math> 検定</li> <li>14. 主成分分析</li> <li>15. 計量テキスト分析</li> </ol>				
テキスト	必要に応じて配布する。				
参考文献	<p>上藤一郎、他「調査と分析のための統計」(2006)丸善株式会社  高橋伸夫、他「人文社会科学の統計学」(1994)東京大学出版会  など。</p>				
評価方法	<p>演習の成果物の出来映え、授業参加の積極性と貢献等を総合評価する。  遅刻、無断欠席は本人に学ぶ気持ちが無いと考え、度重なる場合は単位を認定しない。</p>				
参考URL					
その他	受講学生の研究の方向性によって、内容を調整、変更する場合がある。				

科目分類	スキル科目群－情報解析科目			対象学年	1
授業科目	フィールド調査演習			学期	春学期
代表教員	有田 昭一郎（アリタ ショウイチロウ）			選択/必修	選択
科目コード	H901204	授業形態	講義	単位数	1.0
授業の概要	<p>フィールド調査（フィールドワーク）は、地域の実情や課題を把握するために欠かせない研究活動である。本演習は特に中山間地域における多自然共生に焦点をあて、インタビュー調査、踏査による資源調査を通じて、人々の暮らしや社会の様相について理解し、地域資源を持続的に活用するための管理方法や技術を学ぶ。</p> <p>Keyword：課題設定、調査設計、調査マナー、インタビュー、分析、報告書作成</p>				
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中山間地域への理解を深める</li> <li>2. フィールド調査の目的と設計① 事前準備と本調査</li> <li>3. フィールド調査の目的と設計② 調査の方法とフィールドノートの使い方</li> <li>4. 地図や統計データから地域の特徴を把握する</li> <li>5. フィールドワーク 現地踏査 記録方法①</li> <li>6. フィールドワーク 現地踏査 記録方法②</li> <li>7. フィールドワーク 現地踏査のまとめ</li> <li>8. フィールドワーク インタビュー調査①</li> <li>9. フィールドワーク インタビュー調査②</li> <li>10. フィールドワーク インタビュー調査③</li> <li>11. フィールドワーク インタビュー調査④</li> <li>12. 調査まとめ、分析① 地図や自らが撮影した画像を用いて作成</li> <li>13. 調査まとめ、分析②</li> <li>14. 調査まとめ、分析③</li> <li>15. 発表・対話</li> </ol> <p>* 詳しい日程、内容、必要な準備は、説明会時に伝達する。</p>				
テキスト	テキストは使用しない。授業時に適宜資料を配付する。				
参考文献	佐藤郁哉 フィールドワーク－書をもって街へでかけよう 新曜社 岸政彦 他 質的社会調査の方法－他者の合理性の理解社会学 有斐閣ストウディア 吉本哲郎 地元学をはじめよう 岩波ジュニア				
評価方法	フィールドワークの最後にまとめ発表、演習終了後にレポート（A4 4ページに集約）を提出。調査活動への姿勢と記録（50%）、個人レポート（30%）、報告内容（20%）により評価する。				
参考URL					
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習実施地域（フィールド）は履修者数に応じて決定する。</li> <li>・夏季休業中の集中講義として開講する。</li> <li>・授業期間中の昼食（3日分）の費用は自己負担とする。</li> </ul>				

科目分類	スキル科目群-情報解析科目			対象学年	1
授業科目	GIS研究			学期	春学期
代表教員	松田 善臣			選択/必修	選択
科目コード	H901205	授業形態	講義	単位数	1.0
授業の概要	<p>GISの活用範囲は多岐にわたり、社会科学においても、GISは研究上のインフラとして位置づけられるようになった。そのため、GISを用いて分析を行うための知識や技術を習得することは、地域研究を行うものにとって必須のものとなる。本講義では、さまざまな分野において活用されているGISの事例（特に、人文・社会科学研究での活用事例）を研究し、それらを通してGISの役割と重要性について理解する。さらに、受講生各自の研究課題におけるGISの活用法について検討する。</p>				
授業の内容	<p>第1回 ガイダンス  第2回 GISの概念と原理1  第3回 GISの概念と原理2  第4回 GISの技術1  第5回 GISの技術2  第6回 ビジネスにおける活用事例1  第7回 ビジネスにおける活用事例2  第8回 行政における活用事例1  第9回 行政における活用事例2  第10回～第14回 GISの活用事例  第15回 最終発表  受講生の興味・関心に応じて、扱う事例を決定する。</p>				
テキスト	テキストは指定しない。				
参考文献	適宜、紹介する。				
評価方法	毎回の報告内容（60%）、最終報告（40%）				
参考URL					
その他					

科目分類	スキル科目群-情報解析科目			対象学年	1
授業科目	GIS特別演習			学期	秋学期
代表教員	松田 善臣			選択/必修	選択
科目コード	H901206	授業形態	講義	単位数	1.0
授業の概要	<p>本演習では、GISソフトを用いて地域分析を行うためのスキルを習得することを目的とする。地域分析においてGISが実際に活用されている事例を用いて、データの取得から加工、分析、分析結果の効果的な表現方法といった一連の操作方法を、繰り返し演習を行うことで身につける。また、これらの事例で用いられる分析手法の理論的背景についても理解する。これらの演習を通して、各自の研究課題の中でGISをどのように活用できるかを検討する。</p>				
授業の内容	<p>第1回 GISの基礎  第2回 QGISの基本操作  第3回 地図の表示・レイアウト1  第4回 地図の表示・レイアウト2  第5回 データ作成・編集1  第6回 データ作成・編集2  第7回 地図データの取得  第8回 ベクタ解析1  第9回 ベクタ解析2  第10回 ベクタ解析3  第11回～第14回 総合演習  第15回 課題発表</p>				
テキスト	テキストは指定しない。				
参考文献	適宜、紹介する。				
評価方法	課題（100%）				
参考URL					
その他	「GIS研究」を修得済みであることが望ましい。				